

経営比較分析表（令和6年度決算）

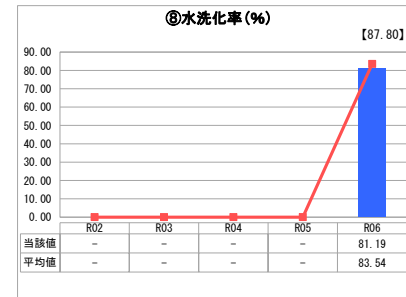
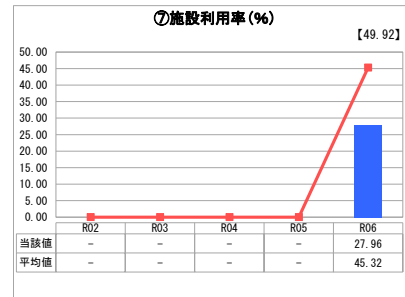
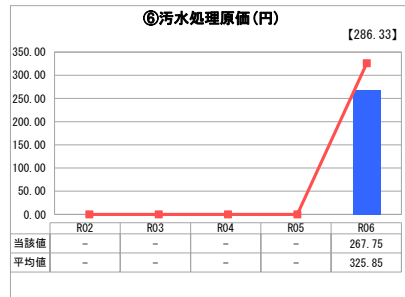
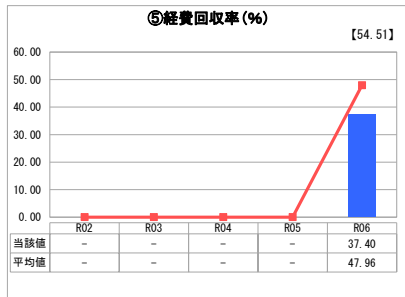
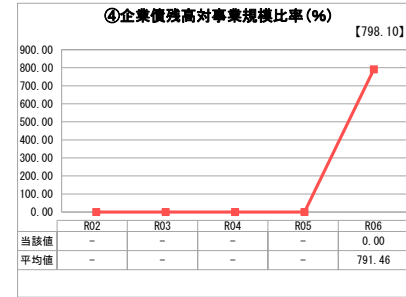
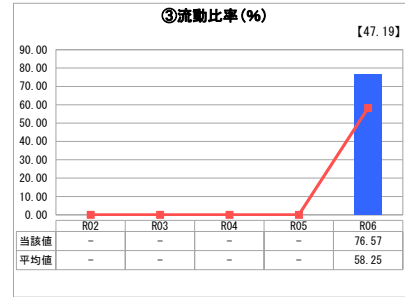
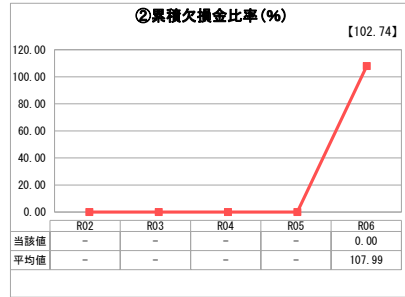
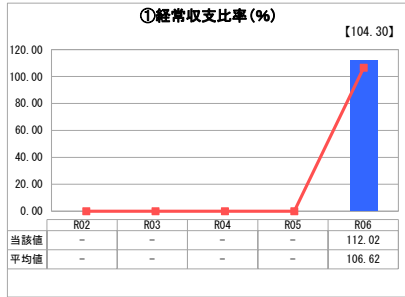
高知県 いの町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.80	2.85	103.03	3,212

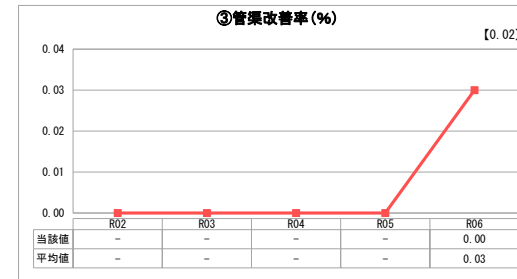
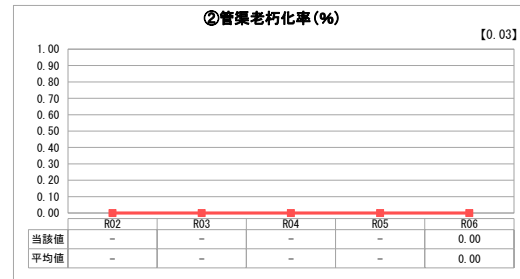
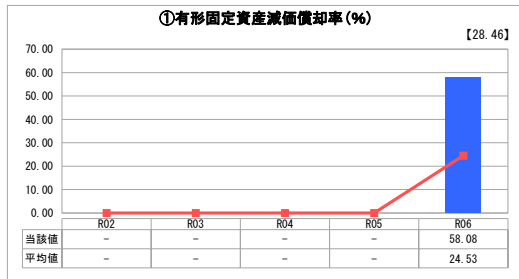
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,829	470.97	44.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
590	0.14	4,214.29

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「健全性」
 経常収支比率は100%を超えているが、経費回収率は100%を下回り、一般会計からの繰入などの使用料以外の収入に依存している状態となっており、使用料で維持管理費用をまかないきれない現状である。適正な使用料収入の確保や水洗化率増加の取組が必要である。
 累積欠損金は発生しておらず、短期的な債務の支払いに要する現金等の資金は充足していると考えられる。
 企業債残高対事業規模比率は法適用前と変わらず、0%となっている。

「効率性」
 水洗化率は法適用前から横ばいで推移しているが、いの町農業集落排水事業が、八代地区は平成10年、加田地区は平成16年に整備完了していることを踏まえると、「経営の効率性」に関する経営指標である「施設利用率」及び「水洗化率」が低いと考えられる。水洗化率増加の取組や、施設のスケールの適正化を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は全国平均や類似団体平均に比して高くなっているが、管渠老朽化率については管渠の法定耐用年数を経過していないため0%となっている。
 2箇所の農業集落排水施設において、平成27年度に実施した診断の結果、大規模な更新箇所はなかった。また、令和3年度から令和6年度にかけて国庫補助金を利用した施設の機能強化を実施した。今後も施設の適切な維持管理に努めていく。

全体総括

農業集落排水事業は令和6年度より法適用となり、事業運営を行っている。
 経営改善のためには、適正な使用料収入の確保と汚水処理費の削減を行う必要があり、より効率的な事業運営を目指す必要がある。
 令和5年度に策定した施設の維持管理適正化計画を踏まえて、効率的な維持管理を行えるよう取り組んでいく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみを類似団体平均値及び全国平均を算出しています。